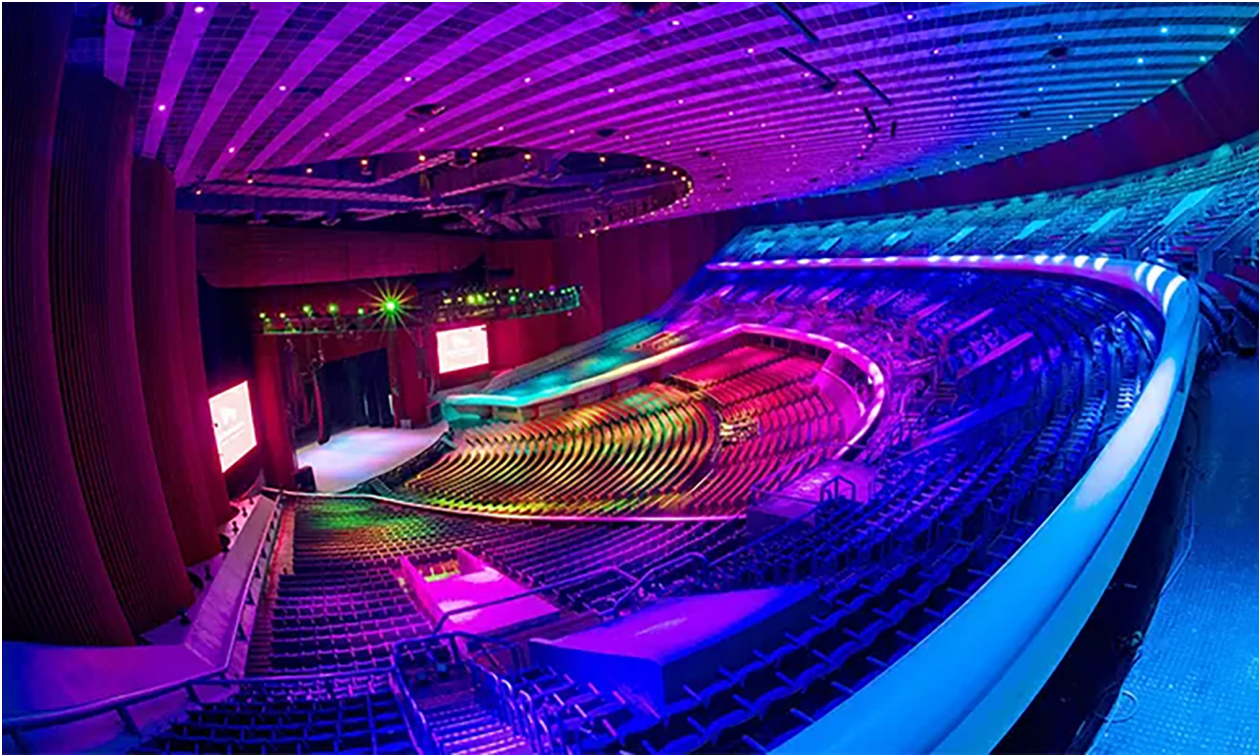




メキシコのオーディトリオ・ナショナルは、 新しいL-Acoustics サウンドシステムでそのレガシーを育む



© Marie Pain

2021年2月

Vari Internacionalは、メキシコで最も象徴的なパフォーマンスセンターにK1/K2をインストールしました。

世界で最高のコンサート会場の一つとして知られている、オーディトリオ・ナショナル (Auditorio Nacional) は、1952年に馬術競技の会場として建てられました。この建物は、エッフェル塔と同じ技術であるリベット鉄で作られており、何年にもわたって大規模な改修が行われてきました。オーディトリオ・ナショナルは、その魅力的な建築デザインとラテンアメリカ最大のパイプオルガンで知られています。会場のメインホールは、約10,000席の客席が23mの巨大なステージの周りに配置されており、主に国内外の音楽コンサート、歌、ダンス、映画祭に使用されています。2013年以来、オーディトリオ・ナショナルは、雑誌『Pollstar』によると世界でトップセラーの会場にランクされています。

オーディトリオ・ナショナルのサブステージであるルナリオ (Lunario) は、1,200席で、中小規模のイベントに使用されています。どちらのスペースも、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニック、イングリッシュ・ナショナル・バレエ団、ポリシヨイ・バレエ団、サンフランシスコ・バレエ団、ニューヨーク・フィルハーモニック、マーク・アンソニー、アレハンドロ・フェルナンデス、エルトン・ジョン、ステイニング・アラン・パーソンズ、マイケル・ブブレ、ハリー・スタイルズなど、有名なアーティストの公演が開催されています。会場には、2回のミス・ユニバースのページェントと、複数の映画プレミア、1968年夏季オリンピック体操競技などの有名なイベントも開催されています。

施設全体が最近改修され、12年前に導入された古いサウンドシステムに代わるL-Acoustics [Kシリーズ](#)システムが導入されました。「オーディトリオでは、毎日公演を行っています。」と、オーディトリオ・ナショナル

のプロダクションディレクター、ニコ・ペラエス (Nico Peláez) 氏は述べています。「過去25年間で約3,000万人がここでのイベントに参加しており、大規模なアップデートが必要だと考えていました。」

詳細に会場の評価を行った後、ペラエス氏は、照明、映像、音響、内部設備の改善を含め、スペース内の10のプロジェクトを特定しました。その後、プロジェクトは優先順位の高い順に並べられ、音響設備が最優先されました。「オーディトリオ・ナショナルは常にその優れた音響特性で知られているので、世界でもトップレベルのコンサート会場であり続けるためには、音響のアップグレードが最優先されました。」と、ペラエス氏は続けます。

世界のトップオーディオブランド4社が入札プロセスに参加しました。完全な客観性を確保するために、4社のブランドは同じ日にオーディ

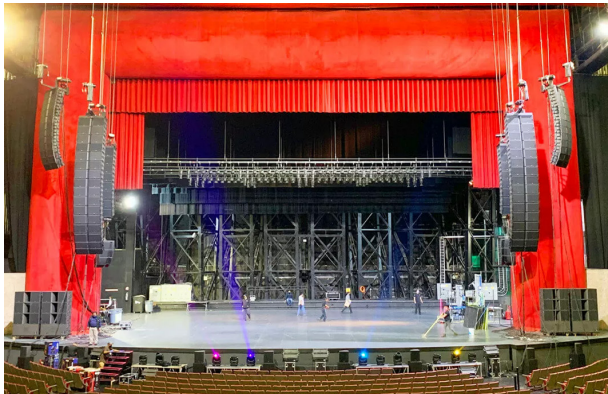


オーディトリオ・ナショナルの外観 © Marie Pain

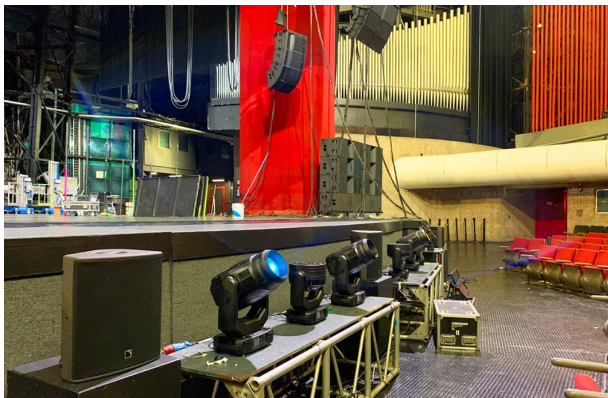


トリオ・ナショナル理事会と独立した外部コンサルタントにデモンストレーションを行いました。「入札プロセスにおいて各社に平等な機会を与えるために、透明性の高いプロセスを開発しました。」とペラエス氏は説明します。「我々のリスニング委員会には、会場の音響・制作チームの12名が参加し、各委員はポイントシステムを使用して、各システムに対して同じ基準で評価しました。」各ポイントシステムは、実績のある経験、音質、およびアウドトリオ・ナショナルの既存のワークフローに統合する能力を考慮に入れたものです。Vari Internacionalが提案したL-Acoustics Kシリーズは、最高点を獲得し、プロジェクトを落札しました。「Vari Internacional チームは非常にプロフェッショナルで、L-Acoustics の代表者と共に L-Acoustics K1 システムのメリットを明確に示すことができました。私たちにとても重要なセールスポイントは、L-Acoustics が既存のエコシステムへの適応力と、その確かな音質の2点でした。メキシコとラテンアメリカの有名なアーティストの中には、アウドトリオ・ナショナルでK1を使用していた人もいますが、特にルイス・ミゲルは、30万人以上のファンの前で30日間の公演を行いました。私たちは皆、そのショーを見た観客からの高評価を聞いていました。」と、ペラエス氏は回想して述べます。

Vari Internacionalのセールスマネージャーであるエンジニアのファン・フランシスコ・アルバレス (Juan Francisco Álvarez) 氏は、選択されたことを光栄に思っています。「アウドトリオ・ナショナルにとって、ブランドの変更だけでなく、ワークフローを改善する機会でもあったと感じました。」と説明します。「L-Acoustics は、アウドトリオ・ナショナルの既存のシステムと完全に統合できるだけでなく、将来性に優れ、必要に応じて新しい要素を簡単に導入し、構成することもできます。」



メインステージ



メインステージに、Vari Internacional は 14 台の K1 の下に 2 台の K2 による 2 つのハングと、アウトフィルとして 12 台の K2 を配置しました。8 台の K1-SB サブウーハーによる 2 つのハングは K1 の後ろにフライングされ、さらに 4 台の KS28 サブウーハーによる 2 つのスタックがステージフロアの左右に配置されています。フロントフィルは、ステージリップの前に配置された 8 台の X12 によって供給されています。片側 2 台の A15 Focus と 2 台の A15 Wide は、モニターシステムのサイドフィル

として使用されています。ディレイは 6 台の Kara(i) による 2 つのアレイが対応しています。システム全体は 39 台の LA12X と 7 台の LA4X アンプリファイド・コントローラーによってドライブされています。また、アンブへの AVB 伝送のために 4 台の P1 プロセッサーが採用されています。最後に、ステージのモニターパッケージは 2 台の ARCS Focus と 22 台の X15 HiQ で構成されています。

ルナリオのシステムは 6 台の Kara と 2 台の SB18 サブウーハーによる 2 つのハングと、舞台の下に隠された 4 台の SB28 サブウーハーで構成されています。必要に応じてステージモニターとフロントフィルとして、20 台のショートスロー X8 コアキシャルエンクロージャーを使用することもできます。サイドフィルとして、4 台の A10 Wide と 4 台の KS21 サブウーハーが使用され、9 台の LA4X と 1 台の LA12X は、2 台の P1 プロセッサーと共にシステムをドライブしています。



ルナリオ



オーディオシステム全体が AVB / Milan プロトコルを使用してアナログとデジタルの両方をサポートし、オーディオの簡素化とコントロール・データ配信の行い、ライブ SR システムでドロップアウトのない品質が保証されています。

「アウドトリオ・ナショナルはあらゆる規模のイベントを主催してきた豊富な歴史を持つ会場のため、完全にスケラブルで、世界トップクラスのコンサート会場としてのこの会場のレガシーにふさわしいサウンドシステムを提供したいと考えました。」とアルバレス氏は述べます。

「この会場では、ものたくさんのイベントが行われています。通常、年間 265 回のコンサート、2,300 トンの機器の使用、72,000 人以上の技術者、300 万人以上のスタッフと時間を費やし制作され、150 万人の観客を集めています。したがって、ワークフロー内のすべてのコンポーネントがシームレスに連携する必要があります。」とペラエス氏は締めくくります。「Vari Internacional と協力して、驚くべき新しい L-Acoustics サウンドシステムを納期と予算内で導入できたことを誇りに思います。新しいシステムは、より効率的に作業できるようになっただけでなく、優れたオーディオを提供してくれます。」